

ファンドの概要

ファンド設立日	2020年3月4日
組合構成員	きのくに信用金庫、民間都市開発推進機構
ファンドの所在地	和歌山県和歌山市
ファンドの資金規模	40百万円（きのくに信用金庫20百万円、機構20百万円）
ファンドの形態	有限責任事業組合（LLP）
ファンドの存続期間	2040年1月末日まで

地域の課題

和歌山市は、人口の減少、若者世代の流出、事業所・従業員数の減少、開業率の低迷、外国人観光客の増加といった課題を抱えている。和歌山市役所は、平成26年より「リノベーションまちづくり」を展開。空き店舗・空き家や駐車場、利用度の低い道路・河川、公共施設などの空間資源の活用と民間主導によるリノベーション事業の実施を通し、質の高い教育機会や子育て環境の創出、質の高い雇用の創出、都市型産業の振興を図っており、その一層の展開が望まれています。

投資対象エリア

本ファンドは、上記の課題を踏まえ、JR和歌山駅から南海電鉄和歌山市駅にかけての都市機能誘導区域を中心とするエリア及び加太地区（南海電鉄加太駅付近の都市機能誘導区域を中心とするエリア）並びにこれらの周辺において実施される民間まちづくり事業に投資します。

投資対象事業の考え方

上記の対象エリアにおいて、空き家・空き店舗・空きビル等をリノベーション等により活用し、宿泊施設、飲食施設、物販施設等を整備・運営することで地域の課題解決に資する事業を投資対象とします。

投資対象エリア（イメージ）



出典：地理院タイル（標準地図）に投資対象エリア・ランドマークを追記して掲載

投資対象エリアと投資していく案件のイメージ



リノベーションスクールでの取組事例①
農園レストラン



リノベーションスクールでの取組事例②
日本酒バー



イベント開催時の商店街の様子